学校番号	112

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校標準古典Ａ物語選」　（第一学習社）						
副教材等	「読んで見て覚える重要古文単語３１５」（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自分で古語の意味を調べ、古文を読める知識を身につけます。
・動詞、形容詞、形容動詞、助動詞の文法を理解し、古文の読解に結び付けられるよう、復習をしながら進めます。
・説話、物語、和歌等、内容に偏りがないようにします。

2　学習の到達目標

古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を進んで学習し、伝統的な言語文化について理解を深めようとしている。			古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察したり、古典特有の表現を味わったりする態度を身につけている。	古典を読むために必要な、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身につけている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・音読 ・暗誦テスト ・感想文提出 ・定期考査			・発問評価 ・音読暗誦 ・課題提出 ・感想文提出 ・定期考査	・発問評価 ・課題提出 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	C	d	e		
1学期前半	説話・物語一	・『古今著聞集』を読み、登場人物の行動・心情を味わい、和歌の特質を考える。 ・『大和物語』を読み、登場人物の行動、心情、歌物語における和歌の役割を理解する。	○ ○			○ ○	○ ○	a:古語を調べ、内容を理解し、百人一首などについて調べている。 d:行動心情を読み取る。 e:正しく音読し和歌の修辞技巧を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・音読暗誦 ・課題提出 ・作文提出 ・定期考査
1学期後半	随筆	・『枕草子』を読み、思想・感情を読み、優れた感情を味わう。 ・『徒然草』を読み、思想・感情を読み、優れた感情を味わう。	○ ○			○ ○	○ ○	a:古語を調べ、随筆に接し内容を理解しようとしている。 d:口語訳し、作者の思想や感情を読み取っている。 e:正しく音読し文学史上の基本的な知識を持っている。	・授業態度 ・発問評価 ・音読暗誦 ・課題提出 ・作文提出 ・定期考査
2学期前半	物語二	・『平家物語』を読み、軍記物語の展開を把握し、語り物の特色について理解する。 ・『大鏡』(歴史物語)を読み、登場人物の行動・心情を読み取り、敬語・助動詞の知識を解釈に活かす。	○ ○			○ ○	○ ○	a:古語を調べ、内容を理解しようとし、時代背景や登場人物について調べたり発表したりしている。 d:口語訳し、軍記物語や歴史物語のおもしろさを理解している。 e:本文を音読し、冒頭部分を暗誦し、文学史上の知識を持っている。	・授業態度 ・発問評価 ・音読暗誦 ・課題提出 ・作文提出 ・定期考査
2学期後半	和歌・漢文	・『古今和歌集』を読み、優れた表現に親しみ、修辞技巧や 表現上の特色を理解する。 ・『史記』を読み、登場人物の行動・心情を読み取り、句形を理解する。	○ ○			○ ○	○ ○	a:古語を調べ、歌人について調べている。 d:口語訳し、思想や感情を読み取っている。 e:正しく朗読し、和歌の修辞技巧を理解している。秦末から漢にかけての歴史的背景について知識を得ている。	・授業態度 ・発問評価 ・音読暗誦 ・課題提出 ・作文提出 ・定期考査
3学期	物語三	・『源氏物語』を読み、登場人物の行動・心情を理解し、敬語・助動詞・助詞の知識を解釈に活かす。	○			○	○	a:古語を調べ全体のあらすじに興味を持っている。 d:口語訳し、登場人物の行動・心情を理解している。 e:文学史の知識を持つ。	・授業態度 ・発問評価 ・音読暗誦 ・課題提出 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。